

平成31年3月31日付で6名の職員が定年退職となりました。
組合員の皆様には、長年に渡り大変お世話になりました。



- ➡ 営農企画課（調査役） 佐藤 満 勤続年数41年
 - ➡ 秋田地区営農センター（調査役） 渡辺 雄司 勤続年数34年
 - ➡ 金融共済部次長（審査役） 進藤 昌則 勤続年数40年
 - ➡ 企画管理部付男鹿地区営農センター（考査役） 吉田 浩典 勤続年数40年1ヶ月
 - ➡ 新屋駅前支店係長（副調査役） 佐藤 弥生 勤続年数38年9ヶ月
 - ➡ 脇本給油所所長（調査役） 山下 伸 勤続年数29年
- （写真右より・敬称略）

長い間大変お疲れ様でした。
これからのご活躍をご祈念申し上げます。

皆様からのお便りや写真、
絵手紙や俳句などの作品を
お待ちしております。



応募のきまり

住所・氏名・年齢及び一言メッセージをご記入のうえ、下記宛先までお送りください。●クロスワードパズルに応募する場合は、パズルの答えをご記入ください。●ご家族の写真などをお送りいただく場合は、写真に写っている方の氏名や年齢を忘れずにご記入ください。●ペンネームでの掲載をご希望の場合は、ペンネームをご記入ください。ペンネームの記入がない場合はイニシャルで掲載いたします。当選者発表については本名での掲載となりますので、ご了承ください。

62	010-0877 JA秋田なまはげ 企画管理課 広報係	秋田市中秋支店2F40	パズルの答え 〒 住所 氏名 年齢 JAへの メッセージ等
----	--------------------------------------	-------------	---

来月号のテーマ
「平成の思い出」や
身近な出来事、
JAへのメッセージを
お書きください。

メールやFAXの応募もお待ちしております

- メールから kikaku-4@ja-akita-namahage.or.jp
- FAXから 018-832-6622

JA秋田なまはげ 企画管理課 広報係 まで

※応募いただいた作品は返却いたしませんので、ご了承ください。なお、当広報によせられた住所・氏名・年齢などの情報は広報活動以外で使用することはありません。編集の都合上、掲載されない場合や内容が編集される場合がございます。予めご了承ください。

自己改革 実践中 ま秋 は田 げな

JA秋田なまはげでは「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」といった基本目標の実現に向けて、自己改革に取り組んでいます。地域農業に根ざした様々な活動を展開していくことで、「農業や地域になくてはならないJA」を目指していきます。

規格外品を有効活用し、農産物の消費拡大や
生産者の所得増大に向けた商品開発を進めています。

秋田市産枝豆を用いた パウダー菓子試作発表会

農業者の所得増大 地域の活性化
農業生産の拡大

当JAや秋田商工会議所などで構成する秋田市有望産品商品開発協議会では、秋田市産の枝豆のパウダーを使った菓子の開発を進めています。このパウダーは県オリジナル品種「あきたほのか」の規格外品をフリーズドライ加工してさやごと粉末状にすることで、加工コストを抑えるうえに枝豆の香りを強く残すことができます。規格外品が多い枝豆を加工して商品化することで、枝

豆の生産拡大や生産者の所得増大、地産品の消費拡大による地域活性化を目指しています。

2月22日(金)にはパウダーを使った菓子の試作発表会が行われ、ホテルや菓子メーカーなど12社が試作した22種類の多彩な菓子が会場に並びました。試食した参加者のアンケートをもとに、JAを販売母体とした加工品の通年展開につなげていきます。

